

プロフィール

●フィリップ・トンドゥル (Philippe Tondre 1989-) フランス出身のオーボエ奏者。



パリ国立高等音楽院の学生であった18歳の時にシュトゥットガルト放送交響楽団(現・シュトゥットガルト SWR 交響楽団) 首席奏者、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団首席奏者を歴任という華々しい経歴の持ち主です。

2011 年ミュンヘン国際音楽コンクールで優勝、並びに聴衆賞とリザ・リムによる委嘱作品の最優秀演奏解釈賞を獲得しました。

2020/2021 シーズンからは長年務めたシュトゥットガルト SWR 交響楽団首席オーボエ奏者の任を離れ、フィラデルフィア管弦楽団の首席オーボエ奏者に就任。2022 年からはカーティス音楽院教授も兼務しています。さらに、ヨーロッパ室内管弦楽団首席オーボエ奏者としての活動も継続しています。

日本との関りも強く、サイトウ・キネン・オーケストラのオーボエ・セクションには2010年から演奏を続けています。2013年には日本初演となるジェルジュ・リゲティの《フルート、オーボエと管弦楽のための二重協奏曲》を、フルートのジャック・ズーン及び大野和士の指揮で演奏しています。また水戸室内管弦楽団のメンバーでもあります。

●ピアノ 上野 絵理子 (うえの りかこ)



京都市立芸術大学卒業・同大学院音楽研究科修士課程修了。

フランス・パリに留学。ジュヌヴィリエ国立音楽院室内楽科において一等賞でディプロマ取得。パリ・スコラカントルム音楽院高等課程を最優秀の成績で卒業。

2013 年レ・クレドール国際音楽コンクール第3位など受賞歴も多い。

ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、和歌山市交響楽団などとソリストとして共演するほか、ポーランド国立放送交響楽団首席奏者達をはじめとする内外アーティスト

との室内楽共演も多く、これまでに日本各地やフランスでリサイタルも行っています。ピアノを阿部裕之、テオドール・パラスキヴェスコ等に、室内楽をジャン=クロード・ブーヴレスに師事。2024 年大桑文化奨励賞を受賞。